

関東

関東の景況は、住宅建築が横這いとなったものの、個人消費、輸出、生産活動が持ち直すなど、回復。

個人消費は、乗用車販売が増加したほか、コンビニエンスストア販売も増加し、緩やかな持ち直し。住宅建築は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少し、全体では横這い。設備投資は、製造業、非製造業ともに投資を積み増す動きがみられ、持ち直し。公共工事は、国、都県が減少し、弱含み。輸出は、電気機械、石油製品が増加し、持ち直し。

生産活動は、輸送機械、情報通信機械が増加し、緩やかな持ち直し。観光は、温泉地、観光地への入込客が減少し、弱含み。雇用は、現金給与総額が増加したほか、製造業、医療・福祉において新規求人数が増加し、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								